

「係の活動への協力を呼びかけるちらしを作る」

～表現の工夫とその効果について考える～

ちらしの工夫されている表現を取り上げ、その効果について自分の考えを具体的に書くことに課題が見られました。そこで、本アイデア例では、生活の中で目にするちらしの表現の工夫を参考にして、係の活動への協力を他の生徒に呼びかけるちらしを作る学習を提案します。表現の工夫について、読み手と書き手のそれぞれの立場で検討することを通して、文章の構成や展開、表現の仕方について自分の考えをまとめることができるようにすることを狙いとしています。

課題の見られた問題の概要と結果

B 1 情報を読む (漆)

B 1 三 正答率 **68.4%** ちらしの表と裏の表現の工夫とその効果を書く。

学習指導要領における領域・内容

〔第2学年〕B 書くこと ウ

〔第2学年〕C 読むこと ウ

授業アイデア例

学習の流れ

「係の活動への協力を呼びかけるちらしを作る」ための学習の見通しをもつ。
収集したちらしの表現の工夫とその効果について考える。(第1時)

係の活動への協力を呼びかけるちらしの下書きを作成する。
互いのちらしの表現の工夫とその効果についてグループで交流する。(第2時)

表現の工夫とその効果について、前時までに学習したことを踏まえて、各自でちらしを完成させる。(第3時)

(言語活動) 係の活動への協力を呼びかけるちらしを作る。

授業前の教師の準備

B 1 三についての生徒の解答の状況を「解答類型」(平成28年度 報告書 中学校 国語)に照らして把握する。特に、以下の「解答類型」の生徒の解答の状況に着目する。

●「解答類型3」の生徒

ちらしの表現の工夫を捉えているが、その効果について具体的に書くことができていない。

教材例

- 情報を読む (漆) (平成28年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語 B 1)
- 身の回りにあるちらし、ポスター、パンフレットなど

第1時

- 1 学習の見通しをもつ。
- 2 集めてきた複数のちらしを読み、表現の工夫とその効果を各自でノートにまとめる。
- 3 ノートにまとめた表現の工夫とその効果についてグループで交流する。



教師

「工夫」や「効果」という言葉を用いながら交流しましょう。提示された表現の工夫について、別の効果が考えられないかについても意見を述べ合いましょう。

スーパーのちらしには、実際の商品の写真を用いるという工夫があったよ。これは、どのような商品なのかが一目で分かるという効果があるね。



観光案内のちらしにも現地の写真が用いられているけれど、これには文章だけでは分かりにくい内容が理解しやすくなるという効果があると思うな。

写真を用いると、多くの人の興味を引く効果があるね。

- 4 交流した内容を踏まえ、各自のノートを見直す。

〔ノートの例〕

表現の工夫	この表現の工夫によって	効果
写真や絵などを入れる		- 一目で分かる - 文章だけでは分かりにくい内容が理解しやすくなる - 多くの人の興味を引く
伝えたいことを始めに書く		- 目立つ - 多くの人の興味を引く

交流を通して新たに気付いたことを書き加えましょう。

第2時

- ⑤ 各自でどのようなちらしを作るのかを決める。
- ⑥ 前時のノートを参考にしながら、ちらしの下書きを作成する。
※ 用紙の大きさは、A5程度。時間内に完成するように配慮する。
- ⑦ それぞれのちらしの表現の工夫とその効果についてグループで交流する。

「工夫」や「効果」という言葉を用いながら交流しましょう。期待する効果を生むために、別の工夫が考えられないかについても意見を述べ合いましょう。



私が作ったちらしの工夫は、「花壇に花を植えます」という説明を始めに書いたことです。こうすることで、目立つという効果や多くの人の興味を引くという効果があると思います。



多くの人の興味を引くためには、「花壇に花を植えます」のところに、「植えてみませんか」などの呼びかける表現を用いるという工夫をしてみてもいいかな。その方が、協力を呼びかけていることが分かりやすくなると思うな。



- ⑧ 交流した内容を踏まえ、各自のノートを見直す。

〔ノートの例〕

表現の工夫	この効果を生むために	効果
写真や絵などを入れる 交流を通して新たに気付いたことを書き加えましょう。		- 一目で分かる - 文章だけでは分かりにくい内容が理解しやすくなる - 多くの人の興味を引く
- 伝えたいことを始めに書く - 呼びかける表現を用いる		- 目立つ - 多くの人の興味を引く

第1時及び第2時終了後の教師の分析

第1時及び第2時終了後に、ノートの記述内容を分析する。

授業前に把握した「解答類型3」に該当する生徒が、次のような内容を記述することができているかどうかを見る。

- ちらしの表現の工夫を取り上げ、その効果を具体的に書いている。
- ちらしの表現の工夫とその効果について気付いたことを書き加えている。

第1時終了後に不十分だった生徒については、第2時のちらしを作成する様子を観察し、必要に応じて支援する。

第3時

- ⑨ 前時のノートを参考にして、ちらしを完成させる。

本授業アイデア例 ● 活用のポイント!

- 学校生活の中で生徒が既に作っているちらしやパンフレットなどを用いて学習することも考えられる。
- 国語科で学習したことを活用しながら、特別活動や総合的な学習の時間などで、ちらしやパンフレットを作成することも効果的である。